

普及現地情報



発信年月日:令和6年(2024年)12月11日

所属名:湖東農産普及課

番号:F24018

発信者名:川村容、數野、栞山、生駒

令和6年産「きらみずき」生産者意見交換会および 令和7年産「きらみずき」作付推進説明会を開催

12月2日、令和6年産「きらみずき」生産者意見交換会を開催し、「きらみずき」栽培の振り返りと次年度栽培に向けた対策について説明しました。また、翌日の12月3日には、令和7年産「きらみずき」作付推進説明会を開催し、「きらみずき」に関心を持つ農業者に次年度の作付を呼びかけました。当日はそれぞれ関係機関を含め、28名、18名の参加がありました。

意見交換会では、当課から令和6年産の概況を報告するとともに、次年度の収量確保に向けた栽培のポイントを説明しました。生産者から追肥の散布にかかる負担が大きいとの意見があり、本年ビークルやドローンを活用して省力散布を実践された生産者からその詳細について話していただきました。また、緑肥を活用された生産者からは、「きらみずき」が順調に生育し、肥料費軽減につながった事例を紹介いただきました。生産者同士で課題や事例を共有することで、栽培意欲の向上につながることが期待されます。

作付推進説明会では、みらいの農業振興課および当課から品種特性や栽培方法を重点的に説明した後、湖東地域で栽培された「きらみずき」の試食をしながら質疑応答を行いました。参加人数が少なかったため、和やかな雰囲気醸成することができ、栽培に対する疑問や試食の感想等、多くの意見を聞くことができました。

今後は、本年の最大の課題となった収量向上を目標に、生産者への栽培支援を継続するとともに、新規栽培者の確保に向けて更なる作付推進を行います。

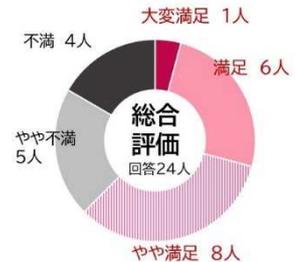


12月3日作付推進説明会の様子

「きらみずき」の評価(アンケート調査結果から)

食味

- ✓モチモチした食感でおいしい
- ✓大粒のため食べ応えがある
- ✓農家レストランで好評
- ✓炊き込んだ際の匂いが良く、食味は「コシヒカリ」以上
- ✓他品種より美味しいと感じた



収量面で不満があるものの、品質・食味の評価は高い

「きらみずき」生産者アンケート結果の紹介